

<第4217回>

目的地：愛宕山表参道（京都北山）

担当者：白神

実施日：2022年2月13日（日）

形式：雪山ハイキング

費用：1030円（阪急大阪梅田駅発着）

参加者：7名

天気：曇りのち雪から雨

行程：

阪急嵐山駅(8:31)⇒(8:45)清滝(8:50)→(9:55)五合目休憩所(10:00)→(10:30)水尾別れ→(10:55)黒門  
[アイゼン装着](11:00)→(11:15)愛宕神社[参拝・昼食](12:15)→(12:45)水尾別れ[アイゼンはずす](12:50)  
→(14:05)清滝バス停(14:15)→(15:20)阪急嵐山駅

感想：

今日のコースは表参道往復だし、危ない箇所はなし、迷いそうな箇所もなし、天気は多少崩れるかもしれないけど、楽勝！と高を括っていたら、ラストでちょっとしたしっぺ返しを食らってしまいました。

というわけで、表参道の鳥居をくぐって登山開始。しばらくすると、右側に愛宕鉄道ケーブルの廃線跡。

道端には40分割された道標が立っており、結構どんどん数値が上がっていきます。

五合目付近からちよくちよく雪を見かけるようになり、水尾別れあたりではほぼ雪道になりました。

水尾別れから少し登った所の黒門でアイゼン装着。チェーンスパイクの方もいらっしゃいました。途端に歩きやすくなり、アイゼン効果を実感。

神社の境内はアイゼンを外して参拝します。幣殿前で記念撮影、神社の方のスマートフォンでも撮っていただき、神社のツイッターに大阪青雲会の旗を掲げた私たちの写真を掲げていただきました。

写真を撮った幣殿のところから、階段を下った四阿（あずまや）までのほんの数十メートルが今回の山行で一番難儀なルートでしたかね。面倒くさがってアイゼンを着けなかったものですから。

四阿（あずまや）で昼食を取った頃から本格的な雪になりました。雪の中アイゼンの効きを感じながら下山開始。水尾別れでアイゼンは外しました。標高が下がるにつれ雪はみぞれ混りになり、清滝に着くころには完全に雨になっていました。垂直方向の天気の変化を実感したものです。

三合目あたりからバスの時間に間に合わすべく少しペースを上げたのですが、なんと担当者はバスの時刻を10分間違えていました。気が付いた頃には時すでに遅し。次のバスには50分以上あることすし、清滝のバス停で体制を整えた後、いざ清滝トンネルから嵐山へ向けて歩き始めました。

まあ私のミスでしたが、人影もまばらな嵐山、竹林をほとんど一人占め感覚で歩くことが出来たのはラッキーだったということにしておきましょう。